

REPORT 1 自動運転バスがいつも走っているまちへ 自動運転バスの5年間継続運行がスタート

みなさんは岐阜市のまちなかで赤いバス「GIFU HEART BUS」を見かけましたか?「自動運転バスがいつも走っているまち」の実現に向け、岐阜市で11月25日から自動運転バスの5年間の継続運行が開始されました。岐阜駅から市役所までの中心部ルートと土日祝日は岐阜駅から川原町や岐阜公園などの観光地を周遊する岐阜公園ルートが運行します。予約をすればどなたでも乗車することができます。

交通量の多い中心市街地の継続的な運行は日本全国をみてもあまりなく、貴重な運行となります。自動運転レベル2から始め、5年間で一定の条件下なら運転手なしでも走行可能なレベル4への移行を目指しています。

今後、みなさんの身近な場所にも運行ができるよう展開していきたいと思います。

運行期間 2028年3月31日(金曜)まで

運行時間 10時~16時

乗車方法 希望日の30日前から電話(070-3390-0055)またはLINE予約システムから予約をして乗車します。

中心部ルート 毎日運行
(30分間隔 1日12便)

JR岐阜→柳ヶ瀬→岐阜市役所・メディアコスモス→高島屋前→JR岐阜

岐阜公園ルート 土日祝日のみ運行
(2時間間隔 1日3便)

JR岐阜→柳ヶ瀬→市役所・鶯谷高校口→川原町→
岐阜公園歴史博物館前→御鯨街道→市民会館・裁判所前→
高島屋前→JR岐阜

GIFU HEART BUS



外観や内装、バス停、ロゴのデザインは水戸岡鋭治氏。岐阜のまちが変わろうとする進化のシンボルとなりうる赤いバスです。



11月25日に出発式が行われました。



JR岐阜駅にも停留所が設けられています。

REPORT 2 社会実験「金華橋ストリートパークライン」が開催されました

岐阜市は「居心地が良く歩きたくなるまちなか」づくりを目指しています。11月18日と19日、道路空間を利活用してにぎわいをつなげていく社会実験「金華橋ストリートパークライン」が開催され、金華橋通りの沿道施設や店舗、様々な関係機関が連携し、飲食店の出店や音楽やアート、アクティビティ体験などが行われました。

開催までに将来のエリアマネジメント活動も見据え、連携する関係者や地域の企業、住民などが金華橋通りの使い方を考えるワークショップを行い、意見交換や社会実験の企画案が考えられました。開催後も今後へのつながりが話し合われ、民間が主体となるまちづくりがすすめられています。



岐阜駅前から市民会館まで車線規制されました



「ぎふ健康フェスタ」の会場として開かれた体験教室



「金華橋通りのつかいかたを考えるワークショップ」の風景



みんながくつろげる、居心地の良い空間